

2020年度研究教育部会全国リーダー研修会報告

開催日時：2021年2月21日（日）9：00～14：30
会場：Web開催

令和2年度研究教育部会全国リーダー研修会は午前と午後の2部構成で実施された。

【午前の部】

1. 「臨地実習及び校外実習の在り方（本来およびコロナ禍）」「『臨地実習及び校外実習の実際（2014年度版）の概要』

初めに、臨地・校外実習の充実に向けて、臨地実習及び校外実習の実際（2014年度版）

(<https://www.dietitian.or.jp/assets/data/learn/marterial/h26rinchi-ma00all.pdf>) の概要について、「導入教育の提案」「臨地・校外実習の最終目標・学習目標・行動目標の見直し」「実習施設の見直し」などの観点からの講演が行われた。

講演の最後に、令和3年度介護報酬改定を受けて、日本栄養士会の「教育」と「配置促進」への取り組みとして、①教育（レベル・対象者に応じた研修会の実施）、②配置促進についての提案がなされた。次にパネリストによるコロナ禍での実習受け入れについての発表が行われた。その後、パネルディスカッションを通じて、コロナ禍における臨地実習・校外実習の現状、問題点、対応などの意見交換が行われた。

【午後の部】

2. 研究教育職域における事業の推進について

(1) 2020年度事業報告

・研究教育部会推進委員会活動

『管理栄養士・栄養士養成システムの充実と科学的根拠の蓄積を業とし、その実践活動を通じて、社会へ食と健康の専門職としての責務を果たす』をビジョンとして、医療・福祉・行政・事業所など他の事業部と連携しながら実践活動、栄養士養成を進める。以下の3つの柱として動かす。

○栄養士制度

「綱領の普及」「教育システムの構築」「栄養士法改正の検討」

日本栄養士会が作成した倫理綱領について、栄養学教育モデル・コア・カリキュラムでも明記されたように、養成校においては専門職とし

て育成する根幹部分の普及をしてほしい。

○教育・研究

「教員の研究力・教育力向上に向けた事業の強化」「学生の研究基礎力」「多様な企業との連携と共創」

栄養学教育モデル・コア・カリキュラムには現場に出て調査し報告する、つまりエビデンスの構築が明記されている。現場でエビデンスを挙げ、そのエビデンスをもとに厚生労働省など諸管轄を動かすことで法改正につながる。そのためにも、学生の研究基礎力をつけていくことが必須となる。

○社会貢献事業、情報発信、ネットワーク構築

「会員増対策」「日栄ホームページの充実」「管理栄養士・栄養士養成校間のネットワークの構築」

栄養士・管理栄養士の資格をもつ人は多いにもかかわらず、会員数が少ない。卒業生や企業等での研究者へのアプローチを行い、日本栄養士会・都道府県栄養士会への入会を勧める。

・2020年度事業報告

2020年8月にオンラインで全国栄養士大会が実施され、のべ2万人（会員数として約1万人）の視聴があった。

(2) 2021年度の事業計画

全国栄養士大会と同じような方法で企画が進んでいる（内容は未定）

その他、日本栄養士会の今後の動向について、2020年度から日本栄養士会も目標数値を定めて事業を進めている。研究教育部会としては、会員増対策や他の職域の栄養士と連携し、日本栄養士会雑誌論文の投稿数を増やすことを取り組む。

3. グループディスカッション・発表・討議

「ウィズ・アフターコロナに向けた管理栄養士・栄養士育成」をテーマにディスカッションを行った。時間の関係上、臨地実習・校外実習の現状について焦点を当てて情報共有を行い、取りまとめて報告した。

（文責 研教 坂井 孝）